		事業所名	こどサポ 古河	可教室		3	支援プログラム	ム(参考様式)	作成日	3	2025 年	6 月	<mark>7</mark> 日		
	法	人(事業所)理念	利用児童が障害の有無や等級に関わらず、将来的に社会の一員として、他者への共感や共同をはかりながら生活ができるように支援を行っていく。												
		支援方針	また、運動療育	運動療育をベースとして、筋力調整、動作予測、記憶及び集中力の強化を行い、認知機能の強化をはかる。 また、運動療育や特別活動、並びに 自由遊びを指導する際に、適切な場面で指導員が介入し、対人マナーや危険予知、他者への共感、言語理解について、療育を行う。 基本日程 : 【 手洗い ➡ 宿題 ➡ おやつ ➡ 自由遊び ➡ 運動療育 ➡ 短時間集中学習 ➡ 自由遊び ➡ 帰宅の用意 】											
		営業時間		<mark>9</mark> 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし					
			支援内容												
	健	建康・生活	・手洗いの仕方、手洗いの大切さ、手洗い後に検温及び体調報告 ・連絡帳の確認、姿勢の保持、時間管理、集中の方法の習得 ・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習的要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認												
	運	動・感覚	・こどサポ運動プログラム(体幹運動、ビジョントレーニング、認知行動訓練、一斉指示、ワーキングメモリー強化)												
	本人支援	恩知・行動	・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知、ラジオ体操、動物ポーズ ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、 ・百ます計算、えんぴつの持ち方、アウトプットの訓練、離席防止訓練												
		語]ミュニケーション	・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦(ルールの理解、勝敗のこだわり)、一斉指示 ・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知												
	人社	、間関係 t会性	・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習的要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認 ・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦(ルールの理解、勝敗のこだわり)、一斉指示 ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、												
		家族支援	担当者は、・/	ペアレントトレー	対応している。必要 −ニングの有資格者 くントの有資格者で	旨である。	者に引き継ぐ。	移行支援	者との話し合い	いのもと利用	は、症状の緩和か 用の回数を減少さ スポーツ少年団^	せたのち、移行	となるケースカ		
	地址	域支援・地域連携			きや貧困状態の可能 と等の運営及び支援			職員の質の向上			動画の視聴及び、 、案件ごとにアト				

学習発表会・手作りまつり・買い物学習・工場見学(長期休み中)・社会科学習(長期休み中)・就労事業所訪問

主な行事等

事業所名			こどサポー創育	舎		3	支援プログ	グラム	ム(参考様式)	作成日	2025 年	6 月	7 日	
	法人(事業所)理念		利用児童が障害の有無や等級に関わらず、将来的に社会の一員として、他者への共感や共同をはかりながら生活ができるように支援を行っていく。											
		支援方針	運動療育をベースとして、筋力調整、動作予測、記憶及び集中力の強化を行い、認知機能の強化をはかる。 また、運動療育や特別活動、並びに 自由遊びを指導する際に、適切な場面で指導員が介入し、対人マナーや危険予知、他者への共感、言語理解について、療育を行う。 基本日程 : 【 手洗い → 宿題 → おやつ → 自由遊び → 運動療育 → 短時間集中学習 → 自由遊び → 帰宅の用意 】											
		営業時間		9 時	() 分から	18 時	0 分	うまで	送迎実施の有無	あり なし			
			支 援 内 容											
		健康・生活	・手洗いの仕方、手洗いの大切さ、手洗い後に検温及び体調報告 ・連絡帳の確認、姿勢の保持、時間管理、集中の方法の習得 ・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習的要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認											
		運動・感覚	・こどサポ運動プログラム(体幹運動、ビジョントレーニング、認知行動訓練、一斉指示、ワーキングメモリー強化)											
	本人支援	認知・行動	・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知、ラジオ体操、動物ポーズ ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、 ・百ます計算、えんぴつの持ち方、アウトプットの訓練、離席防止訓練											
		言語 コミュニケーション	・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦(ルールの理解、勝敗のこだわり)、一斉指示 ・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知											
		人間関係 社会性	・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習的要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認 ・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦(ルールの理解、勝敗のこだわり)、一斉指示 ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、											
		家族支援	担当者は、・^	者が中心となり; ペアレントトレ・ アンガーマネジ,	ーニング(の有資格者	である。	者に引き継	ぐ。	移行支援	学童保育併用者について 者との話し合いのもと利 見られる。高学年では、	用の回数を減少す	させたのち、移行	_「 となるケースが
	j	地域支援・地域連携	個別ケース会議への参加、虐待や貧困状態の可能性がある児童への児童相談所 との連携、その他、こども食堂等の運営及び支援団体との連携をはかってい る。 職員の質の向上 ・年に10回前後、研修動画の視聴及び、レポート作成を行 ・メンター制度を導入し、案件ごとにアドバイスを行ってい											

学習発表会・手作りまつり・買い物学習・工場見学(長期休み中)・社会科学習(長期休み中)・就労事業所訪問

主な行事等

・メンター制度を導入し、案件ごとにアドバイスを行っている・

支援プログラム (参考様式) 事業所名 作成日 こどサポ 創育舎プラス 2025 年 6月 **7** ⊟ 法人(事業所)理念 利用児童が障害の有無や等級に関わらず、将来的に社会の一員として、他者への共感や共同をはかりながら生活ができるように支援を行っていく。 運動療育をベースとして、筋力調整、動作予測、記憶及び集中力の強化を行い、認知機能の強化をはかる。 また、運動療育や特別活動、並びに、自由遊びを指導する際に、適切な場面で指導員が介入し、対人マナーや危険予知、他者への共感、言語理解について、療育を行う。 支援方針 基本日程 : 【 手洗い ➡ 宿題 ➡ おやつ ➡ 自由遊び ➡ 運動療育 ➡ 短時間集中学習 ➡ 自由遊び ➡ 帰宅の用意 】 世業時間 送迎実施の有無 あり 9 時 0 分から 18 時 0 分まで なし 支 援 内 容 ・手洗いの仕方、手洗いの大切さ、手洗い後に検温及び体調報告 健康・生活 連絡帳の確認、姿勢の保持、時間管理、集中の方法の習得 ・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習的要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認 運動・感覚 ・こどサポ運動プログラム(体幹運動、ビジョントレーニング、認知行動訓練、一斉指示、ワーキングメモリー強化) ・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知、ラジオ体操、動物ポーズ 人支援 認知・行動 ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、 ・公文式学習(公文教育研究会公認)、百ます計算、えんぴつの持ち方、アウトプットの訓練、離席防止訓練 ・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦(ルールの理解、勝敗のこだわり)、一斉指示 コミュニケーション ・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知 ・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習的要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認 人間関係 ・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦(ルールの理解、勝敗のこだわり)、一斉指示 社会性 ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、 学童保育併用者については、症状の緩和が感じられたタイミングで、保護 各教室の管理者が中心となり対応している。必要に応じ、担当者に引き継ぐ。 |者との話し合いのもと利用の回数を減少させたのち、移行となるケースが| 担当者は、・ペアレントトレーニングの有資格者である。 家族支援 移行支援 見られる。高学年では、スポーツ少年団への加入も促している。 ・アンガーマネジメントの有資格者である。 個別ケース会議への参加、虐待や貧困状態の可能性がある児童への児童相談所 年に10回前後、研修動画の視聴及び、レポート作成を行っている。 地域支援・地域連携 との連携、その他、こども食堂等の運営及び支援団体との連携をはかってい 職員の質の向上

学習発表会・手作りまつり・買い物学習・工場見学(長期休み中)・社会科学習(長期休み中)・就労事業所訪問

主な行事等